

## 中海・宍道湖・大山圏域観光データ収集事業に係る報告

中海・宍道湖・大山圏域市長会では、本圏域の一体的な観光振興策を検討するための基礎資料として、以下の調査を行いました。

(圏域とは、中海・宍道湖沿岸の5市と鳥取県西部7町村をいう)

### 1 調査内容

#### 【GAP調査】

インターネットによる聞き取り調査を行い、中海・宍道湖・大山圏域の認知度と興味度、期待度や満足度を調査しました。

#### 《調査期間》

平成24年11月12日～平成24年11月14日

#### 《対象者》

サンプル数：1,030名 男女比：5：5 年代：20歳以上

居住地：大阪、兵庫、広島、岡山、東京・神奈川の5エリア

(割合：各20% サンプル数は、各エリア約200名)

#### 【GPS調査】

携帯電話のGPS機能を活用し、ユーザーからあらかじめ許諾を得た上で、取得した位置情報を基に、本圏域を訪れる旅行者の発地、周遊状況、滞在時間等を調査しました。

#### 《調査期間》

平成24年5月1日～平成24年5月31日

#### 《設定条件》

■旅行者の定義：中海・宍道湖・大山圏域に自宅や勤務地がなく、2時間以上滞在していた者。

■宿泊者の定義：対象エリア内に22時～翌4時のうち、4時間以上滞在していた者。

■流入・流出計測スポット：5ヶ所

(①米子自動車道 ②伯備線 ③米子空港 ④出雲空港 ⑤国道54号線)

■圏域内の計測観光エリア：10ヶ所 ※当該エリア内に1時間以上滞在した者を訪問者とする。

(①松江城 ②足立美術館・さぎの湯温泉 ③出雲大社 ④水木しげるロード ⑤皆生温泉

⑥大根島・由志園 ⑦キララ多伎 ⑧玉造温泉 ⑨米子駅 ⑩大山寺)

## 2 調査結果

今回の調査結果のうち、本圏域の特徴的な事項を以下のとおり抽出しました。

### 【GAP調査】（関東：東京・神奈川 関西：大阪・兵庫）

- ① 関東の未来訪率が7割を越えている。
- ② 関東からは、「一人旅」の割合が比較的高い。
- ③ 本圏域への来訪手段は、自家用車が74%を占め最も多い。
- ④ 若年層の旅館宿泊者が少ない。
- ⑤ 出雲大社を絡めた旅程は、満足度が高い。
- ⑥ 関東からは島根県の観光スポットを、関西からは鳥取県の観光スポットを訪れる来訪者が多い。
- ⑦ 関東の方の興味・関心は、島根県側の観光スポット（出雲大社：82.5%・玉造温泉：70.4%・松江城：70.4%）が高く、関西は鳥取県側の観光スポット（水木しげるロード：64.8%・皆生温泉：68.7%）への興味・関心が高い。
- ⑧ 圏域内にある観光コンテンツに対し、20～30歳代女性の興味・関心度が高い。また女性が人を連れてくる傾向が見られる。

### 【GPS調査】

- ① 圏域来訪者の発地は、岡山・広島山陽と、大阪・兵庫の関西からが圧倒的に高い。  
（圏域来訪者の発地のうち、山陰両県をのぞくと上記4府県で約7割を占める。）
- ② 圏域来訪者の約4割（44%）が日帰りである。
- ③ 1泊を伴う圏域来訪者であっても、圏域外での宿泊者が、圏域内の宿泊者の約2倍いる。
- ④ 圏域外での宿泊（1泊）であっても、圏内に7～9時間滞在している。  
（日帰り客よりも滞在時間が長い）
- ⑤ 本圏域への流入・流出経路は、米子自動車道が61%を占め、非常に高い。
- ⑥ 圏域来訪者の約4人に1人は、出雲大社を訪れている。

※米子駅周辺や皆生温泉を訪れる割合が高くなっているが、周辺観光スポット（水木しげるロード・足立美術館・大山寺等）を訪れる観光客の公共交通機関待合せ、宿泊地となっているものと思われる。

### 3 調査結果の活用

中海・宍道湖・大山圏域の一体的な観光振興を図るため、前項において抽出をした特徴的な調査結果を踏まえ、以下のような方向性で市長会事業を検討します。

#### ① 関東地区へのアプローチ

関東地区からの未来訪者率が高いことから、当該地区へ圏域の観光プロモーションを行う。

また、来訪する手段としては飛行機利用が多く見込まれることから、米子空港利用促進懇話会・21世紀出雲空港整備利用促進協議会と連携し、誘客促進を図る。

#### ② ニーズにあったプロモーション

関東からは島根県内の、関西からは鳥取県内の観光スポットを訪れる方が多いとともに、興味・関心についても同様の傾向が見られる。また、20～30歳代女性の、圏域内観光コンテンツに対する興味・関心度が高い。こうした、ニーズにあった圏域プロモーションを図る。

#### ③ 圏域周遊ルートの構築

「出雲大社」への満足度や、来訪地としての割合が高いことから、出雲大社を絡めた圏域の観光周遊ルートを構築する。また、圏域内にある観光コンテンツをつなぐストーリー（コース）を構築し、圏域内の周遊を促進させる。（食・歴史・温泉等）

#### ④ 自家用車で来訪される方の満足度を高める取り組み

自家用車を利用して本圏域へ来訪される方が圧倒的に多いことから、自家用車で来訪するメリットを創り出す。

#### ⑤ 圏域内の宿泊を増やす取り組み

宿泊を伴う来訪者であっても、圏域外で宿泊する割合が高いことから、圏内宿泊を増やす取り組みを行う。

#### ⑥ 観光データの継続的な収集

今後、中国横断自動車道：尾道松江線及び姫路鳥取線等、インフラ整備の状況によって、来訪者の動線も大きく変化することが見込まれる。また、米子鬼太郎空港・出雲縁結び空港への国際チャーター便の就航や、境港への外航クルーズ船の寄航など、国内観光客だけでなくインバウンドの状況も大きく変化することが見込まれる。

こうした状況変化に対応するためにも、ある程度継続的なデータ収集を行う。